

# 地域を理解し，郷土を愛する心を育む

三次市立三和小学校 校長：飯田 直美【施設泊】広島ふるさと村 みわの里

## 体験的に学ぶ意義

### 1 「山・海・島」体験活動を通じて育てたい児童の姿

三和小学校には，開校時の約40年前に，「気宇広大な子供の育成をめざし，たくさんの経験や学びをしてほしい」という願いのもと，地域の方が「学校の森をつくる会」を結成され，会費を出し合って造成や植樹された「学校の森」があります。この地域資源を，地域を題材とした生活科・総合的な学習の時間を活用し，学び方やものの考え方を身に付け，問題解決や探究活動に主体的，創造的に取り組む態度を養いながら，三和に住む人々の思いや生き方から学び，三和町の自然への関心を高め，ふるさと三和への愛着を深めています。

「山・海・島」体験活動を主に学校周辺の地域で実施することとして，誰もが安心・安全に住める町をテーマにした総合的な学習の時間と関連を図ったり，「学校の森」を活用した自然体験活動を教科等と関連付けて取り入れたりするなど，地域での体験活動を重視した取組としました。

### 2 「山・海・島」体験活動の概要

#### (1) 目的

- 三次市や三和町の人・自然・産業や文化と歴史に触れ，三次市や三和町に愛着を持ち，地元を誇りに思う心情や態度を培う。
- 自然体験活動等を通して，自然に対する関心を育てる。
- 共同生活を通して，自主性と責任感，思いやりの心や協力の大切さを感じさせる。
- 自律の心とよりよい人間関係をつくろうとする意欲と実践力を培う。

#### (2) 3泊4日体験活動の主な内容

	午前	午後	夜
1日目	開村式 目標設定（パフォーマンス書道）	スポーツ吹き矢 福祉体験	星空観察
2日目	森林観察ネイチャーゲーム〔理科〕 森林の働き〔社会〕	特別養護老人ホーム訪問 調理実習	スタンプ練習
3日目	和牛飼育体験 折り紙	カヌー体験 常清滝見学	キャンプファイヤー
4日目	大土山登山	閉村式	

### 3 体験活動の指導の工夫

	日常的な活動 (全校での取組)	体験活動当日 (第5学年の取組)	
	<b>三和をテーマにした 全校での学習</b>	<b>安心・安全に住める町を実感 する体験活動</b>	<b>地域の思いを実感する体験 活動</b>
ねらい	○地域をテーマにした生活科と総合的な学習の時間によって、三和町に愛着を持ち、地元を誇りに思う心情や態度を養う。	○誰もが安心・安全に住める町にするために必要な努力や工夫を知り、自分たちができるところを考え、創造的に取り組む態度を養う。	○三和に住む人々の思いや生き方から学び、三和町の自然への関心を高め、ふるさと三和への愛着を深めて、地域のためにできることを考えて行動する実践力を高める。
活動内容	○「学校の森」を生かした活動(全校) ○「学校の森」探検(1年) ○町探検(2年) ○三和特産「成広谷とうふ」についての学習(3年) ○美波羅川を知り、美しい自然を未来に残す取組(4年) ○三和の夢追い人から学ぶ(6年)	○三和町内の特別養護老人ホーム喜楽園での高齢者の方との交流 ○社会福祉センターの見学 ・老人体験 ・地域のお年寄り(デイサービス)との交流 	○地域の方による指導 ・みわスポーツクラブでのスポーツ体験 ・「学校の森」を活用したネイチャーゲームの指導 ・学校近くの「ふるさと村みわの里」への宿泊 ・和牛飼育体験 ・星空観察の指導 ・大土山登山(約800m)
指導のポイントや工夫	○三和町に関心を持ち、三和町のために行動したいという意欲を引き出すことを目的とした生活科と総合的な学習の時間を設定する。 ○子供たちの“学びたい”、“～したい”を引き出すために、経験や知識をもとに、活動後の自分達の姿の予想を立てさせる。	○3泊4日の振り返りにおいて、老人ホームへの訪問の成果と課題をまとめ、次の訪問計画を立てる。 ○高齢者にとっての安心・安全を考える際は、経験したことと既存の情報とをつないで、ウェビングを活用して考えさせる。	○地域の方の取組に係る話だけでなく、その取組を通しての地元への願いや思いについても話題にする。 ○お礼の手紙を書く際は、児童の地域に対する思いや、実践してみたいことを書かせ、ねらいに迫るように指導する。

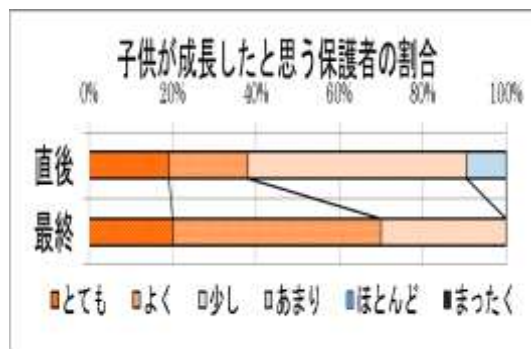
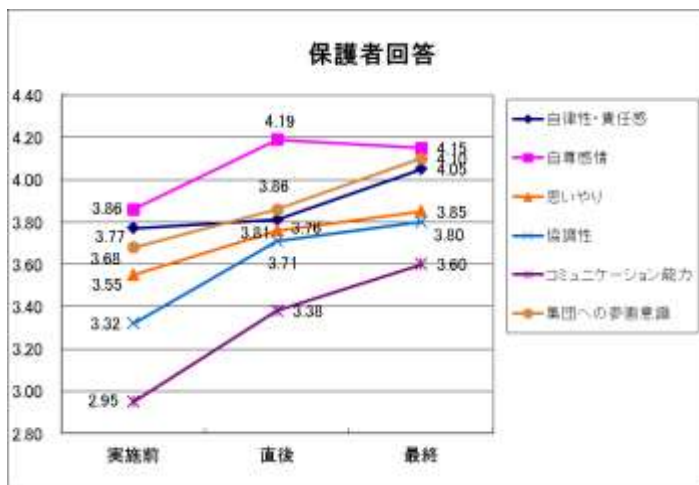
第5学年の取組から、他学年が自らの取組を見直すきっかけになり、自分の学年でも“～したい”を引き出すことができる。

#### 事後学習(第5学年の取組)

- 学習発表会で、三和の魅力伝える。
- 喜楽園在園の方に年賀状を出し、交流を継続する。
- 安心・安全に生活できるようにするために、自分たちにできることや町にしてほしいことなどをまとめ、ホームページで発信する。

## 4 取組による成果

### (1) データによる児童の変容



○ 保護者回答のアンケートが、県平均よりも高い数値で推移しています。全てのアンケート項目において実施前に比べ1か月後の数値が高くなっています。特に「自尊感情」に関する項目は、実施前と実施後を比較すると0.33ポイント向上し、高い数値を示しています。

### (2) 児童の感想

#### お年寄りとの関わりを通じた児童の感想

- ・ 私はお年寄りのそばにいるのが、「楽しい。」と、初めて思いました。それは、総合の学習で、会話をする時のコツを習ったからです。この学習の中には、しりとりや法則や、どうして？の法則があります。しりとりや法則というのは、言葉の中の大切な文字だけ聞き取って言葉をつくることです。この法則のおかげで、お年寄りのそばにいるのが楽しく感じました。
- ・ 私は、もともと人と会話をしたり、人に何かを説明したりすることがうまくいきませんでした。だから、喜楽園でお年寄りと接することが不安でした。だけど、今は違います。それは、今、お年寄りやカルタをすることができたからです。この時、お年寄りのそばにいるのが楽しかったのだから、人と話をしたり、人に何かを説明したりすることがうまくなったのではないかと感じました。私は、会話の仕方や話題が思いつかないだけで、話をするのがきらいなわけではありません。この体験を通して、これから会話をする時のヒントを学ぶことができました。
- ・ お年寄りの人がいちばん喜ぶのは、お話をすることです。手を握ったり、かたをもんだりしてあげることもとても喜ばれました。だから、私はお年寄りの人とたくさん交流をして、少しでも楽しく暮らせるようにしたいと思いました。今、日本は子供よりお年寄りの人数が増えています。だから、私たちが支えていくことが大切だと思います。そして、私たちがお年寄りになった時でも、子供たちや若い大人が支えてくれるような社会にしていきたいです。

#### 学校の森の樹木の植樹や樹木の手入れをした時の児童の感想

- ・ これからいろんな花や実が付くのを想像する心が明るくなります。成長していく様子をこれからも見ていき、学校の森を大切にしていきたいです。そして、自然を大切にする活動を、地域の活動にも広げていき、三和町の自然も大切にしていきたいです。